

## 歯科衛生士(その1)

歯科衛生士は、歯科医療の発展や歯科医院数の増加とともに社会的に広く認知されるようになりましたが、歯科衛生士法ができたのは昭和23年(1948年)ですから、日本ではそんなに古くからある職業ではありません。ちなみに、歯科衛生士を英語でデンタル・ハイジニスト(Dental Hygienist)といいます。その語源であるハイジアとはギリシャ神話の「健康の女神」のことで、新宿にある東京都健康プラザ「ハイジア」は、都民の健康づくりの拠点という主旨からその名前が付けられています。つまり、歯科衛生士(デンタル・ハイジニスト)とは、皆様の歯の健康を守る女神というわけです。女神とはいえ、現在は法律が変わり男子でも資格を取ることができるようになりましたので、きわめて少数ですが、すでに男子の歯科衛生士が歯科医療の現場で働いています。

歯科衛生士は、歯科衛生士養成校を卒業し、国家試験に合格することによって厚生労働大臣から免許を与えられる国家資格で、当初修業年限は一年間でしたが、度重なる法律の改正でそれが2年になり、さらに今は平成22年までにすべての学校が3年制以上になるよう定められています。いま全国には130校

以上の養成学校があり、毎年7000人以上の歯科衛生士が世に送り出されています。平成19年末現在、厚生労働省には21万人の歯科衛生士が登録されていますが、その一方、就業している歯科衛生士数は8万7千人に過ぎず、臨床の現場では慢性的に歯科衛生士不足の状態が続いています。現在、歯科衛生士の90%以上は歯科医院で働いていますが、平成9年の地域保健法のスタートにより、市町村の保健センターや老人保健施設からのニーズが高まり、それを受けて歯科衛生士養成校では、在学中に介護ヘルパー2級の資格が取得できるカリキュラムを組むところが増えていきます。少子高齢社会を迎え、生涯を通じた歯の健康づくりは人々の暮らしに密接した課題となり、歯科衛生士の担う役割はますます高まっています。



## ISO認証の責任者を任されて

品質管理責任者・鬼塚早希

皆さん、ISO9001ってなんだかわかりますか？これは、提供する製品やサービス(ここでは治療の事です)の質の向上のために、システムやプロセスを確立し維持・改善するための規格です。私が説明すると単純で簡単そうですが、この認証を取得するのはとても難しく大

変なことなのです。

2007年8月9日、この日から、ひるま矯正歯科はISO9001の認証取得に取り組み始めました。半年をかけて6回の勉強会。一カ月毎にコンサルタントの方が来て、私たちが気付いていなかった問題点が指摘されました。今までちゃんとした決まりがなく、

それぞれがそれぞれの基準で仕事をしてきたことを実感しました。でもその中で一人一人の責任や役割、何をすべきか、何を考えていくべきか、今まで見えていなかった事もはっきりしてきました。毎回、医院を改善するための議論が溢れ私たちはその課題に追われてい

たように思います。そして迎えた審査の日。これまでやってきたこと、日々やっていること。2度にわたって「ひるま矯正歯科」が審査され、無事認証をいただくことが出来ました。振り返ってみると、毎日大変だったと言えるかもしれません。でも先生もスタッフも誰か一人で頑張ったわけでもないし、一人だけ大変だったわけでもありません。ただ、私はこの半年で少しパソコンも出来るようになったし、考える力も少しついたし、ISOのおかげで頭をいっぱい使い、困った時はみんなに助けられながら一つひとつの課題をこなしていくことが出来ました。ISO9001認証取得の目的、その意味を私がかちゃんと理解したのはつい最近のような気がします。それに、医院が変わっていくのもまだまだこれからだと思っています。衛生士になって4年目となる今年。1年目とは違い、毎日楽しいと思える気持ちの余裕が持てるようになりました。これからは大変なことにでも挑戦していける強い気持ちを持って、成長していく「ひるま矯正歯科」と共に歩んでいきたいと思っています。



審査風景...品質管理責任者として緊張して審査を受けているところ

それぞれがそれぞれの基準で仕事をしてきたことを実感しました。でもその中で一人一人の責任や役割、何をすべきか、何を考えていくべきか、今まで見えていなかった事もはっきりしてきました。毎回、医院を改善するための議論が溢れ私たちはその課題に追われてい



ISO9001認証書...ISO9001とは、組織が品質マネジメントシステムを確立し、文書化し、実施し、かつ、維持すること。そして、その品質マネジメントシステムの有効性を、継続的に改善するために要求される規格をいいます。